

## 6. 単元指導計画

単元名

### ぼうグラフと表

11・12月 全9

単元のねらい

棒グラフや二次元の表の表し方を理解し、日常のさまざまな事象を棒グラフや二次元の表に表して考察しようとする意欲をもつ。

簡単なことがらについて、資料を集めたり、記録したりすることができる。

棒グラフを見て、表されている量の大小、相等、倍などの関係を読み取ることができる。棒グラフのかき方を理解し、資料を棒グラフに表して考察することができる。

観点を決めて資料を分類整理し、それを二次元の表にまとめるよさを理解したり、資料の特徴を考察したりすることができる。

	1	2	3	4	5
ねらい	「好きな学級遊び」アンケートの結果を表にまとめる活動を通して、落ちや重なりがなく、正確に集計するためには、「正」の字を用いるとよいことが分かる。	「好きな学級遊び」アンケートの結果を表にまとめる活動を通して、人数が少ない遊びは「その他」にまとめるとよいことが分かる。	棒グラフの仕組みを知り、それらを読むことができる。また、棒グラフは数量の多い項目順にならべかえるとわかりやすくなることを知る。	1めもりの大きさが1以上の棒グラフや、棒の向きが横の棒グラフを読み取る。また、数量の多い項目順ではなく、時系列順に表した棒グラフがあることを知る。	棒グラフのかき方が分かり、方眼紙を使って簡単な棒グラフをかくことができる。
主な学習活動	<p>【問題】アンケートの結果を見て気づいたことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフに表すと見やすいことに気づく。</li> </ul> <p>【課題】アンケートの結果を表に正しく整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「<b>正</b>」を用いて数える。</li> <li>「<b>正</b>」を用いて数える。印をつけながら数える。</li> <li>同じ種類のを数える。</li> </ul> <p><b>「正」の字を使って整理すると、正しく整理することができる。</b></p>	<p>【問題】アンケートの結果を表にまとめてみましょう。</p> <p>【課題】アンケートの結果を表に正しく整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台数の少ないものはまとめて「<b>そのた</b>」とする。</li> <li>「<b>合計</b>」欄を作る。</li> </ul> <p><b>人数が少ない遊びは、「その他」にまとめるとよい。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前ページのものをもっとわかりやすくしたのとして「<b>ぼうグラフ</b>」を導入する。</li> </ul> <p>【問題】29ページの表を棒グラフに表しました。次のことをしらべましょう。</p> <p>【課題】棒グラフのひみつをしらべよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>棒の長さは何を表しているか。</li> <li>1めもりは何台を表しているか。</li> <li>どの車が一番多いか。</li> <li>トラックとオートバイの台数の違いは。</li> <li>乗用車の台数は、バスの台数の何倍か。</li> <li>表と棒グラフを比べて気づいたことを話し合う。</li> </ul> <p><b>棒グラフに表すと、表のときよりも大きさが比べやすくなる。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>31ページの上のグラフを提示する。</li> </ul> <p>【問題1】この棒グラフは、けんじさんたち4人のソフトボール投げのようすです。次のことをしらべましょう。</p> <p>【課題1】30ページの棒グラフと違うところを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横の1めもりは、何mを表しているかを調べる。</li> <li>4人それぞれ何m投げたのか読み取る。</li> <li>投げた長さの違いを読み取る</li> </ul> <p>【問題2】ひろ子さんが月曜日から日曜日までに家でべんきょうした時間です。つぎのことを調べよう。</p> <p>【課題2】棒グラフの秘密をしらべよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勉強した時間を曜日の順に読み取る。</li> <li>1めもりが何分を表しているかを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>32ページの表を提示する。</li> </ul> <p>【問題】表は、学校の鳥小屋にいる小鳥の数を、しゅるい別に調べたものです。表を棒グラフにあらわしてみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな種類の鳥が何羽いるだろう。</li> </ul> <p>【課題】小鳥の数を棒グラフにかいてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の棒グラフの書き方を確認する。</li> <li>各自、方眼紙に棒グラフをかく。</li> <li>各自がかいた棒グラフを見て、棒グラフの書き方（手順・留意点など）をまとめる。</li> </ul>
関心・意欲・態度		落ちや重なりがないことや、集計に誤りがないことを確かめようとしている。			
考え方	落ちや重なりがなく、正確に集計する方法を考える。		表を棒グラフと比較して、グラフの有効性について考えている。	1めもりが1以上の棒グラフであるとき、1めもりがどれだけの大きさを表しているのか考える。	
表現処理					棒グラフから、数量や数量間の関係を読み取ることができる。
知識理解	「正」の字を用いると、落ちや重なりがなく、正確に集計する事ができることを理解する。	表の「 <b>そのた</b> 」と「 <b>合計</b> 」の意味がわかる。	棒グラフの仕組みがわかり、それを読むことができる。	曜日、月、季節、年、時刻など時系列の量を表す場合は、大小順にしないほうがよい場合があることを理解する。	棒グラフをかくことができる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述、観察、分析、</li> <li>挙手の観察</li> <li>仲間の話の聞き方の観察</li> <li>練習の観察</li> <li>話し合いの様子を観察</li> <li>発言内容の分析</li> <li>自己評価の分析</li> <li>相互評価の分析</li> </ul>				
留意			めもりが1ずつのものと5とびのものがあることを確認する。	1めもりの大きさを確かめる。	適切な枠組みのある用紙を用意し、基本的な書き方や留意点を指導する。

	6	7	8	9
ねらい	2・5とびなどのグラフの意味がわかり、読んだりかいたりすることができる。	観点を決めて資料を分類整理し、それを二次元の表にまとめるよさを理解することができる。	身の回りの事象を調べ、グラフを描く活動を通して、統計的処理のよさを味わう。	練習問題を通して、ぼうグラフと表の問題に習熟することができる。
主な学習活動	<p>33 ページのグラフを提示する。</p> <p>【問題】棒グラフをみて、その特徴を考えよう。</p> <p>【課題】1めもりは、何ばを表しているのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの大きさが異なることに着目させる。</li> <li>・1めもりの大きさが、何羽を表しているのかとえさせる。</li> <li>・残りの鳥の数を長い順に棒グラフにかく。</li> </ul> <p><b>グラフをかくときは、資料の数値や紙の大きさによって、1目盛りの大きさを決めて表すことが大切である。</b></p>	<p>34 ページ、35 ページの表を提示する。</p> <p>【問題】3年生が好きなスポーツを、表にまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの表を1つの表にまとめられることを確かめる。</li> </ul> <p>【課題】34 ページと 35 ページの表をくらべてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データをもとに、表をまとめる。</li> <li>・表の「合計」欄は何を表しているのか考える。</li> <li>・合計の縦・横の数値が等しくなるわけを考える。</li> <li>・2種類の表を比べて、気づいたことを話し合う。</li> </ul>	<p>【問題】アンケートをもとに、グラフを作ろう。</p> <p>【課題】アンケートや調査をして、みんなの好きな食べものをグラフに表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で調べてみたいことを決めて、統計の計画を立てる。</li> <li>・自分なりの方法で解決する。</li> <li>・自分なりにグラフに表し、表題をつける。</li> <li>・グラフから読み取ったことを話し合う。</li> </ul>	<p>【問題】教科書 p36 のまとめようをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの使い方を確かめる。</li> </ul> <p>【課題】自分の力で正しい答えをもとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力で取り組む。</li> <li>・教科書やノートを参考にに取り組む。</li> <li>・仲間と交流して、考えを補充したり、修正したりする。</li> <li>・全体で交流する。</li> </ul>
関心・意欲・態度			既習学習を活用し、活動に取り組もうとしている。	既習を生かして、問題を解決しようとする。
考え	グラフの目盛りをかえることのよさに気づく。	一次元表と二次元表を比較して、二次元表の有用性について考えている。		
表現処理	1目盛り2や5の棒グラフでも、数量や数量どうしの関係を読み取ることができる。		数値を調べ、整理して、グラフに表すことができる。	ぼうグラフや表の数値を読み取ることができる。
知識理解		二次元表のしくみを理解している。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノートの記述、観察、分析</li> <li>・ 挙手の観察</li> <li>・ 話し合いの様子を観察</li> <li>・ 発言内容の分析</li> <li>・ 仲間の話の聞き方の観察</li> <li>・ 自己、相互評価の分析</li> </ul>			
留意点				